

*Kinrossen Riverside National Park*

# 国営木曾三川公園

整備・管理運営プログラム

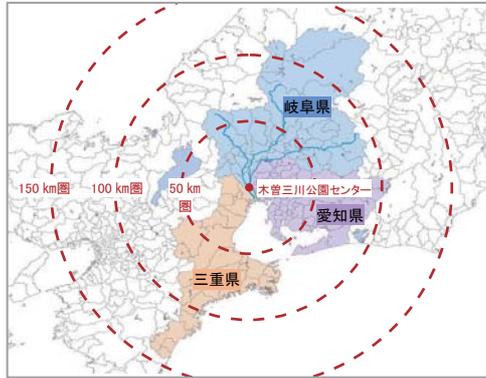
令和3年6月  
国土交通省中部地方整備局



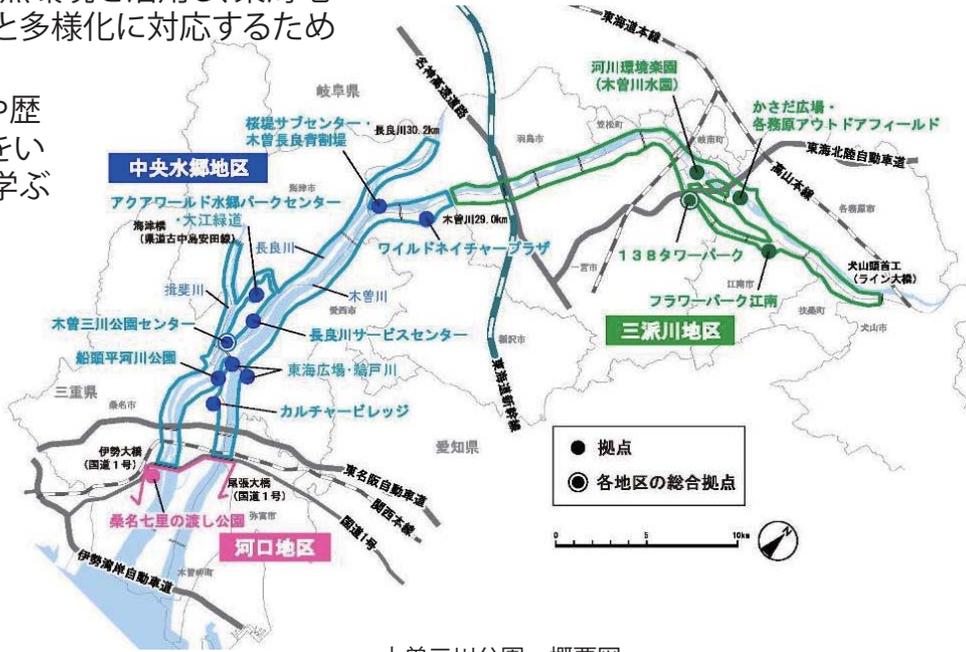
# 公園の概要、利用者推移および開園状況

国営木曾三川公園は、木曾川・長良川・揖斐川の木曾三川が有する広大なオープンスペースと豊かな自然環境を活用し、東海地方の人々のレクリエーション需要の増大と多様化に対応するために設置された公園です。

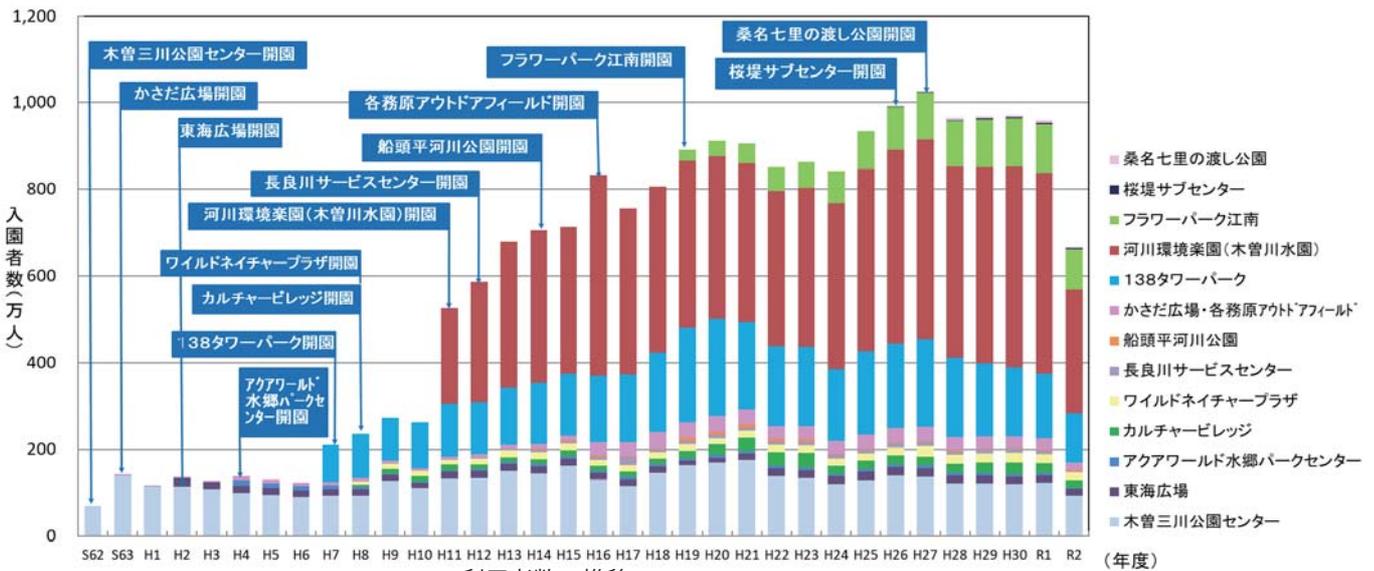
川や流域のもつ魅力である自然環境や歴史文化そして広域的な広がり・つながりをいかながら、これを守り・感じ・楽しみ・学ぶ場として整備を進めています。



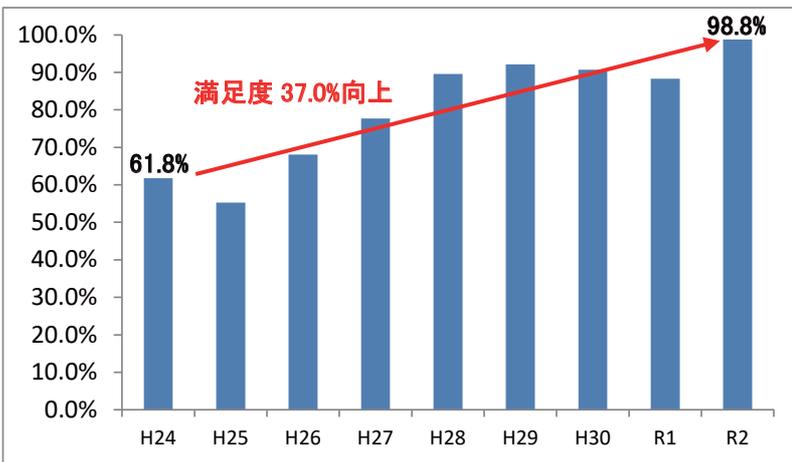
木曾三川公園 位置図



木曾三川公園 概要図



利用者数の推移 ※令和2年度入園者数は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受け減少



公園の管理に対する満足度の推移(木曾三川公園全体)

## 供用経緯

計画決定・供用開始年	基本計画に関わる経緯・拠点名	供用面積
昭和51年	東海3県一市知事市町会議において「木曾三川公園構想」提示	—
昭和54年	公園全体の基本構想、基本理念の策定	—
昭和55年	中央水郷地区基本計画の策定	—
昭和56年	中央水郷地区の都市計画決定	—
昭和59年	三派川地区基本計画の策定	—
昭和62年	三派川地区の都市計画決定	—
昭和62年	木曾三川公園センター 供用開始	11.0ha
昭和63年	かさだ広場・各務原アウトドアフィールド 供用開始	34.8ha
平成元年	河口地区基本計画の策定	—
平成2年	東海広場・鶴戸川 供用開始	21.3ha
平成4年	アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道 供用開始	8.4ha
平成7年	138タワーパーク 供用開始	26.4ha
平成8年	カルチャービレッジ 供用開始	14.2ha
平成8年	ワイルドネイチャープラザ 供用開始	26.7ha
平成11年	河川環境楽園(木曾川水園) 供用開始	33.7ha
平成12年	長良川サービスセンター 供用開始	88.8ha
平成14年	船頭平河川公園 供用開始	2.7ha
平成19年	七里の渡し地区の都市計画決定	—
平成19年	フラワーパーク江南 供用開始	13.4ha
平成27年	桜堤サブセンター・木曾長良背割堤 高水敷エリア供用開始	7.5ha
平成27年	桑名七里の渡し公園供用開始	1.1ha

# 公園のストック効果

## 1) 木曽三川の自然環境や歴史・文化への理解を深める効果

河川ならではの自然環境の連続性確保に配慮した公園整備により、広域的な水と緑のエコロジカルネットワーク形成に貢献するとともに、木曽川・新境川など、水辺に囲まれた公園の立地条件をいかした、水辺の生き物とのふれあいを気軽に体感することのできる環境教育プログラム（河川環境楽園）の展開や、新しく整備した「堀田」を活用した田植え・稲刈りの体験プログラム（アクアワールド水郷パークセンター）で輪中の文化を学んでもらう取り組みにより、地元の方々はもとより、他の地域から訪れる多くの人に対しても、木曽三川の自然環境や歴史・文化への理解を深める効果を生んでいます。



稲刈り体験プログラム  
(アクアワールド水郷パークセンター)

## 2) 地域の観光振興への波及効果

イルミネーションイベント（138タワーパーク）、かわしま燦々夏まつり（河川環境楽園）、水辺マルシェ（桑名七里の渡し公園）など、地域との共催による多くの行催事の場として活用されています。また海津アクアマルシェ、桑名水郷舟めぐりなど、地元地域の歴史・文化や産業と結びついたイベントの開催により、にぎわいを創出しています。これらにより、県外も含めた多くの方が来園することで、地域における行催事等の広域レクリエーション、観光・周遊ネットワークの活性化に寄与し、地域の観光振興への波及効果を生んでいます。



イルミネーション  
(138タワーパーク:一宮市)



かわしま燦々夏まつり  
(河川環境楽園:各務原市)



水辺マルシェ  
(桑名七里の渡し公園:桑名市)



来園者居住地  
(R1年度利用実態調査)

## 3) 地域における防災・減災への貢献

河川環境楽園が南海トラフ巨大地震におけるTEC-FORCE活動計画（受援計画）の広域進出拠点（以下「TEC-FORCEの広域進出拠点」と言う）として位置付けられているほか、沿川自治体の地域防災計画においても、各拠点が広域避難地や一次避難地に指定されています。また原子力災害対策重点区域内の自治体の広域避難計画において、避難経路所に指定されています。

自治体の地域防災計画等における国営木曽三川

地区名	拠点名	自治体名	地域防災計画名	国営木曽三川公園の位置づけ
三派川地区	フラワーパーク江南	江南市	江南市地域防災計画	広域避難地
	138タワーパーク	一宮市	一宮市地域防災計画	広域避難地
	河川環境楽園	国交省	TEC-FORCE活動計画	広域進出拠点
中央水郷地区	長良川サービスセンター	海津市	海津市地域防災計画	一次避難地
	アクアワールド水郷パークセンター	海津市	海津市地域防災計画	一次避難地
	木曽三川公園センター	海津市	海津市地域防災計画	一次避難地
	カルチャービレッジ	桑名市	桑名市地域防災計画	一次避難地
	カルチャービレッジ	袋井市	原子力災害広域避難計画	避難経路地



公園を利用した防災訓練 R1.6(東海広場)

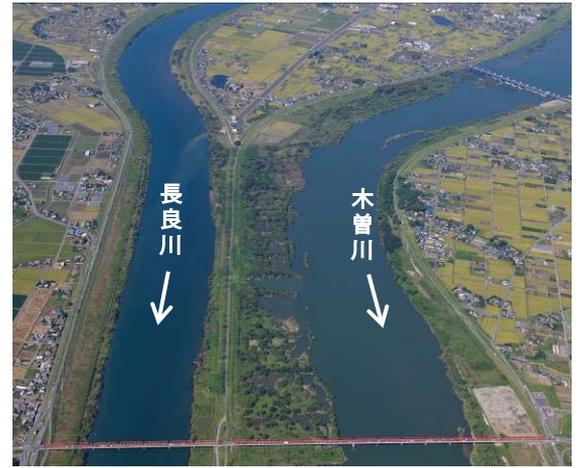
# 今後5年間の整備・管理運営の重点事項

## ①水辺の自然環境や広大な水面・河川敷をいかします

木曾三川固有の河川環境・生物多様性の保全・再生に留意しながら、川の雄大な景観を楽しめる場の提供や水辺に近づける場の整備など、川の魅力を多面的に感じていただくための取り組みを進めます。

また、環境教育プログラムの充実やきめ細かい植物管理など、国営公園ならではの高度な管理運営を行うことで、河川環境の利用及び保全・再生に資する取り組みを進めます。

さらに、広大な水面と河川敷、および水上スポーツ等の拠点としての機能をいかし、アウトドアスポーツ、レクリエーション、健康づくりの場として、利用促進を図ります。



ケレップ水制周辺に形成された自然豊かな環境が連続する  
(桜堤サブセンター・木曾長良背割堤付近)

## ②歴史文化資源をいかします

先人による治水事業の推進、水郷の暮らし、かつての街道や舟運の交通結節点といった、木曾三川固有の歴史・文化資源をいかし、それらを体験・学習することのできる施設の整備や周辺の地域資源と国営公園との連携の強化により、個性的で魅力あふれる拠点の整備・管理運営を進めます。

## ③地域と連携し、地域の活性化に寄与します

広い範囲に拠点が存在する特色をいかし、ひとつの公園として、より高い効果を発揮するため、拠点間を結ぶネットワークの整備や複数の拠点が連携した取り組みを推進します。

また、広域レクリエーションの充実、観光・周遊ネットワークの形成、地場製品の活用、訪日外国人旅行者向けサービスの向上などにより、関係人口の増大による地域のヒト・モノの交流を促進する役割を果たします。併せて、周辺のまちづくり・公園や緑地、地域の方々と連携した取り組みを進めます。

## ④より安全・快適で、効率的・経済的な整備・管理運営を進めます

高齢者、障害者、子育て世代、訪日外国人旅行者など、あらゆる利用者が、安全・快適に公園を利用していただけるよう、既存ストックの機能の検証を行い、必要な機能改善やユニバーサルデザインに配慮した施設を整備するとともに、民間事業者との連携を進めサービス向上を図ります。

また、予防保全の考え方を取り入れた長寿命化計画を踏まえ、より維持管理が容易な施設への更新や情報技術の活用により効率的・経済的な整備・管理運営を進めます。



車いすやベビーカーの方にも楽しめる施設  
(木曾三川公園センター)

## ⑤防災機能向上の取り組みを進めます

TEC-FORCEの広域進出拠点として位置付けられている河川環境楽園や、地域防災計画における広域避難地や一次避難地として位置づけられている拠点について被災時に適切な役割が果たせるよう、関係機関との連携を図り、防災機能向上に取り組み、安全・安心な地域社会づくりに寄与します。

## ⑥SDGsを推進します

木曾三川固有の河川環境や生物多様性の保全・再生(目標6、15)、地域固有の歴史文化資源の活用や周辺のまちづくりにおける地域の方々と連携(目標11)、これらによる地域の活性化(目標8)、さらにはカーボンニュートラルへの貢献や防災機能の向上(目標13)に努め、SDGsを推進します。

## 整備方針

①自然環境をいかした整備を進めます

②歴史・文化を体験、学習できる整備を進めます

③レクリエーション空間の充実に向けた整備を進めます

④安全・安心で利用しやすい公園づくりを目指した整備を進めます

# 管理運営方針

①木曾三川ならではの川に親しみ学ぶ場や歴史文化に触れることのできる場を提供します



オオキンケイギク駆除イベント（かさだ広場）

②地域活性化に向け、沿川自治体や河川管理者と連携した取り組みを進めます



海津アクアマルシェ（アクアワールド水郷パークセンター）

③地域の活力向上に向け、地域の方々や企業との協働による運営を促進します



ボランティアによる活動（フラワーパーク江南）

④安全・快適に利用いただける施設とサービスを提供します



障がいのある方をはじめ誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーションの充実（長良川サービスセンター）

⑤既存施設の適切な修繕等を進め、効率的・経済的な維持管理を行います

⑥災害時に避難地や防災拠点として機能するよう備えます



南海トラフ巨大地震防災訓練(R2.2)（河川環境楽園）



遊歩道・サイクリングロード整備状況

# ネットワーク形成のための整備・管理運営方針

①サイクリングロードのネットワーク化

②周辺地域との連携による広域的な利用の促進

③エコロジカルネットワークとしての魅力や意義の発信

### 木曾三川公園センター

○水と緑の館の改修と併せ、最新の技術を活用した展示施設の再整備を実施し、「地域の歴史文化や自然環境」を周知・学習する総合拠点として情報発信の充実を図ります。また、民間活力を導入した飲食施設の整備を図るなど、公園利用者の利便性及び魅力向上に取り組めます。



### アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道

○堀田北エリアの整備を完了し、アクアワールド水郷パークセンターの全面開園を目指すとともに、大江川の下流に位置する万寿新田広場の整備を進めます。また市民団体やNPO等との連携を深めながら、水辺環境や水郷景観(堀田)に親しむレクリエーションや、歴史・環境などの体験学習の充実を図ります。



### ワイルドネイチャープラザ (サリオパーク祖父江)

○隣接する県営公園との連携を強化するための再整備、さらなる利用促進を図るため市民等の活動拠点や自転車道等の整備を推進します。また市民等との協働・連携を促進し、レクリエーションや環境学習体験を通じた祖父江砂丘の保全・再生、および樹林の適切な管理による多様な鳥類の住処の保全等を進めます。



### フラワーパーク江南

○II期エリアについては、樹林の散策、植物観察、自然とふれあえ、遊べる「故郷の森」として、既存樹木、生物等を活用・保全しながら整備し、早期開園を目指します。



### 東海広場・鶴戸川

○既存ストックの有効活用を図るためにも適切な維持管理を行い、多様な屋外レクリエーション空間を提供できる場として利用促進を図ります。



### 長良川サービスセンター

○引き続き、競技団体等との連携を深め、長良川国際レガッタコース、河川敷の各種競技施設やセンターハウスの各施設の利用促進を図りながら、多様なスポーツ・レクリエーション拠点として、一層の充実を図ります。



### 桜堤サブセンター・木曾長良背割堤

○自然と治水の歴史を学ぶ場となり、サイクリング利活用拠点や防災機能を有する堤内地エリアについて、近隣にある市の防災ステーションとの連携に留意しつつ、整備を推進します。



### かさだ広場・各務原アウトドアフィールド

○未開園区域の整備推進に向けた検討を進めるほか、当地区の広大な空間や自然環境を活かしながら、地域と連携したイベントの開催や利活用による魅力の向上を図ります。



### 船頭平河川公園

○ハス田修景池の適切な保全を図るとともに、「かわまちづくり」とも連携し、水運による繁栄、宝暦治水・明治改修などの治水事業の歴史や文化に触れることができるよう、隣接する船頭平閘門及び木曾川文庫等の地域資源の一体的な利活用を図ります。



## 中央水郷地区



### 河川環境楽園 (木曾川水園)

○老朽化した施設のリニューアルにより、魅力の向上を図るほか、地域の自然や歴史を活かした環境学習の充実を図ります。また、災害時にはTEC-FORCEの広域進出拠点として円滑な災害支援に資するよう、機能を確保します。



### カルチャービレッジ

○隣接する「輪中の郷」や水辺の楽校「水郷の森」との連携を深め、イベントの開催や情報発信等により地域交流の場としての魅力向上に取り組んでいきます。



### 桑名七里の渡し公園

○歴史交流の場となる七里の渡し地区の整備を進めていきます。また、地域や民間企業との連携を図り、利用者満足度を高めていきます。



### 138タワーパーク

○魅力的な公園として管理運営を進めるとともに、サイクリングネットワークの総合拠点として沿川自治体と連携した利活用を推進します。



## 河口地区

● 拠点  
● 各地区の総合拠点

# 事業効果

## 1) 自然環境や歴史文化への理解の深化

木曾三川公園センターの展示内容の刷新や水郷の暮らしを体験できる堀田エリアの全面開園、多様な環境教育プログラムの充実により、公園を訪れる方に対し、木曾三川の自然環境や歴史文化への理解が深まります。



## 2) 地域活性化と観光振興

### ●観光振興

未供用エリアの追加開園や、再整備などにより公園の魅力が向上し、入園者数が増加することにより、公園周辺の観光施設に波及効果をもたらします。

### ●地域の活性化

地域と連携したイベント開催の促進等により、地域の観光振興やにぎわいの創出に貢献できます。



## 3) 健康増進・地域コミュニティの活性化

### ●河川空間をいかしたレクリエーションの提供による健康増進

広大な河川空間をいかした特色あるスポーツやアウトドアの場を提供することにより、レクリエーションを通じた健康増進に寄与します。

### ●地域コミュニティの活性化

公園ボランティアの参画を進めることにより、人々の居場所となる地域コミュニティが生まれ、広がります。



## 4) 河川の景観や自然環境の保全

### ●水辺景観や生物の生息・生育空間の保全

ワンド、ヨシ原、水辺林や樹林地などの保全を行うことにより、河川らしい水辺景観や生物の生息・生育環境が保全されます。これにより、木曾三川流域生態系ネットワーク構想の実現や河川敷利用による樹林化防止など、流域全体の河川環境保全の取り組みや河川管理にも貢献します。



### ●河岸砂丘の保全・活用

学識経験者の知見を基に砂の攪拌を行うことにより、希少な河岸砂丘である「祖父江砂丘」が保全されるとともに、協力団体と連携し年間を通じた砂丘を活用したレクリエーションを進め、砂丘への関心を高めます。



## 5) 防災機能の強化

TEC-FORCEの広域進出拠点に位置づけられている河川環境楽園では、関係機関と連携した訓練等を実施し、円滑な災害応急対策の実施による被害の最小化、被災状況調査及び復旧工事の迅速化につなげます。

## 6) SDGs達成への貢献

川に親しみ学ぶ場や歴史文化に触れることのできる場の提供(ターゲット11.4)、ワンド、ヨシ原、水辺林や樹林地などの保全(ターゲット6.6、15.1、15.5、15.8)、沿川自治体と連携した地域活性化(ターゲット8.9)、安全・快適に利用いただける施設とサービスの提供(ターゲット11.7)、災害時における避難地や防災拠点として機能の強化(ターゲット13.1)、省エネルギー機器の導入や再生可能エネルギーの活用によるカーボンニュートラルへの貢献(ターゲット13.2)により、SDGsの各ターゲットの達成に貢献します。

この整備・管理運営プログラムは、社会資本整備重点計画の計画期間にあわせて、国営木曾三川公園の令和3~7年度までの整備及び管理運営に関する重点項目などを策定し公表するものです。  
なお、本プログラムは、社会情勢の変化や事業の進捗状況等を踏まえ、適宜見直しを行っています。

国土交通省 中部地方整備局 建政部 都市整備課  
〒460-0001  
愛知県名古屋市中区三の丸2丁目5番地1号  
名古屋合同庁舎2号館  
Tel:052-953-8573 Fax:052-953-8605  
e-mail:cbr-toshisebi@mlit.go.jp